

平成26年3月期 中間決算の概要

当中間期のクローラクレーンの需要は、世界経済の不透明感が続く中、世界全体では前中間期に対して微増となりました。

日本市場は、震災復興需要の本格化や景気の緩やかな回復を背景に公共工事や民間工事が増加し、主に更新目的による新車購入が進んだ結果、クローラクレーン新車需要は前年同期比55%の増加となりました。

海外市場は、先進国市場では、北米や西欧では経済の回復遅れにより需要は横這いもしくは減少しました。一方、新興国市場では、景気拡大下にありますアジア地域では需要が増加しましたが、中国やインドの需要は横這い又は微増でありました。

こうした市場環境の中、当社は新製品の継続的な市場投入、原価低減や固定費低減など各種施策に取り組んだ結果、当中間期の業績は以下の通りとなりました。

【平成26年3月期中間の経営成績（連結）】

(%表示は対前中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
当中間期	16,999	25.0	1,147	131.3	1,160	162.4	827	272.5
前中間期	13,601	0.4	496	89.3	442	190.8	222	—

国内事業については、新車需要の増加に加えて、基礎施工用の新製品の発売により販売台数が増加し、またサービス事業の充実にも努めた結果、当期の国内売上高は9,964百万円（前年同期比53%増）となりました。

海外事業については、北米ではLink-Belt Construction Equipment Company、欧州地域においては、Hitachi Construction Machinery (Europe) N.V. など各地域の代理店と連携し、代理店の販売支援や新興国市場の開拓などに努めましたが、当期の海外売上高は7,035百万円（前年同期比1%減）となりました。

世界経済は今後も先行き不透明な状況が続くと予想され、クローラクレーン市場の世界需要においても急激な回復は見込まれませんが、当社は以下の重点方針を推進することで、引き続き、競争力の有るスリムな事業体質の構築を目指します。

- 1) 徹底した原価低減の推進
- 2) 市場要求に合った新機種開発の推進と開発力の強化
- 3) 関係会社及び代理店との連携強化による顧客満足度のさらなる向上
- 4) 固定費圧縮の継続
- 5) キャッシュフローの改善
- 6) 内部統制を重視した企業体質の強化

(お問い合わせ先)
日立住友重機械建機クレーン株式会社
経営企画部
Tel/ (03)3845-1386 Fax/ (03)3845-1379
〒110-0015 東京都台東区東上野六丁目9番3号
URL/ <http://www.hsc-crane.com>